

工場本部 品質検査課

山田 幸希

もうかれこれ15年以上前のこと。山田さんは高校で旭紙工の求人票を目にしました。「読書が好きで、製本にも興味がある」と会社見学に赴くと、学生の自分に対しても社員の皆さんは「こんにちは！」と明るく挨拶。その活気ある職場の雰囲気の魅力を感じ、入社を決意しました。そして、入社して中継じや断裁などを経験した2、3年後、突如、新たに立ち上がった「検査課」のスタートアップメンバーとして1名で検査業務に挑むことに……。では、まずは「検査課始動期」の秘話から聞いていきましょう。

——会社初の「検査課」を1名で担当すると知ったときは、率直にどう感じましたか？

何の前触れもなく、驚きました（笑）しかも、配属されたのは私一人で、さらにビックリ！当初は何をしたら良いのかまったくわからず、各部門長に教えを乞うことから始めました。検査課は本が仕様通りに完成しているか、品名が正しく表記されているかなど、ひたすら確認作業を行います。その確認のポイント、どうしたら作業しやすいかなどを教えてもらったのです。その教えをもとに試行錯誤と改善を続けて、ようやく「これでいけるかな」と自分なりの検査方法が見えてきたのは、立ち上げから1年後くらいだったと思います。

——検査課に配属される以前、入社してから何か苦労はありましたか？

まず単純に社会人生活に慣れるのが大変でした。当時は夜遅くまで働

向上心を胸に、的確な検査業務に邁進する山田さん。その真摯な姿勢は、これからも旭紙工の未来を力強く支えていくに違いありません。



「あれも、これも」とバタバタしたりしているときほど、ミスしやすいため、落ち着いて作業するべきです。検査課を通過したら「間違いない完成品」となりますから、いわば「最後の砦」の役割を担っていると肝に銘じて作業に臨んでいます。なお、検査課は現在4名体制。基本的には本社工場に2名、瓜破工場に2名を配し、随時LINEや電話で現状を連絡し合い、ときに多忙な現場へ応援にいくなどお互いにフォローしながら作業を行っています。

——仕事で嬉しかったことはありますか？

随分と昔の話で、具体的にいつ



——最後に、今後の目標を教えてください。

だったかを覚えていないのですが……。お客様から「休み明けの月曜日に確認済みの印刷物が必要で、どうしても日曜日に不備がないか、最終確認を行わなければならない」とのお話があったときのことです。「ぜひ、山田さんに確認をお願いしたいのです。日曜日ですが、お願いできませんか？」と指名されました。「指名されたということは、それだけ信頼されているのだな」と、非常に嬉しい気持ちになったことだけは、今でも鮮明に記憶しています。

——最後に、今後の目標を教えてください。

検査課は検査に何時間かけても、1円も利益を生みません。そこで、たとえば「できるだけ包装を簡易にできないか」と考えて営業担当に単包装を打診するなど、時短の工夫を進めたい考えです。個人としては、やや人見知りでコミュニケーションに苦手意識があるため、少しでも改善したいと思います。

——仕事で大切にしていることは何ですか？

「焦らずに確認」がモットーです。仕様通りかを確認する際、急いだり、

企業情報

- ◆創立年：1983年1月
- ※創業：1963年
- ◆年商：17.6億円
- ◆従業員数：200人

※2023年12月実績

幹部たちの

ビジョンとパッション

第17弾

会社の未来を切り開くキーパーソンに迫るシリーズ企画。

今回登場するのは、物流部門の村上祐一さんです。お客様のニーズに真摯に応え続ける姿勢と、現場の皆さんの働きやすさに配慮する誠実な対応で、「信頼される存在」を目指す村上さん。その仕事論に迫ります。

旭紙工の
ここがすごい！

旭紙工の強み

「できない」を「できる」に変える、お客様第一の推進力

「お客様の期待に応えたい」という強い思いのもと、厳しい納期や大量の受注にも全力で取り組み、可能な限り対応。こうした「勢い」や「真摯な姿勢」が私たちの強みです。私は2025年2月末に物流部門へ異動したばかりですが、部署が変わってもこの「勢い」は変わりません。製本担当の皆さんが短納期や大量の冊数に対応するだけでなく、ドライバーの皆さんも安全運転を徹底しながら、いかに迅速にお客様のもとへお届けできるかを常に考えています。お客様のニーズに真摯に応えようとする姿勢が、他社には負けない最大の強みだと自負しています。

今後長期的に成し遂げたいこと

「基本」を徹底し、さらなる信頼を獲得

何をおいてもお客様に喜んでいただくことが第一です。例えば、ご来社いただいた方への気持ちの良い応対や、荷受けの際の丁寧な対応、配送時の挨拶など。基本的な礼儀やマナーを徹底することで、さらなる信頼を獲得していきたいと考えています。

このほか、物流部門として、無事故無違反を1年間継続することも重要な目標。事故は納期遅延に繋がるだけでなく、何よりも社員の安全と精神面を揺るがします。メンバー全員が安心して日々の業務に取り組めるよう、今後も引き続き安全運転を徹底していきます。お客様との信頼関係を深めていくためには、基本を徹底し、継続していくことが大切です。



村上さんの
考えとは？

物流部門

むらかみ ゆういち
村上 祐一さん



仕事をする上での信念

お客様へ最高の品質を、 仲間へ最高の配慮を

お客様に対してはもちろん、現場の従業員一人ひとりに対しても、できる限り仕事がしやすいような配慮を心がけています。例えば、現場の皆さんが一生懸命作った商品は、きれいなままでお届けするのが当たり前。キズや汚れなどが無いよう細心の注意を払ってお届けします。またドライバーに対しては、安全に配送できるよう無理のない段取りを組むようにしています。

物流部門には、22～80歳近いベテランまで幅広い年齢層のメンバーが在籍しています。それぞれの経験や考え方を尊重しながら、メンバーの間を取り持つことも私の大切な役割。年齢や経験の違いから生まれる意見の相違を「中和」させ、より良い仕事の進め方を見つけることで、チーム全体のパフォーマンスを高めていきたいと考えています。

仕事をする上で大切にしている考え方

誠実な対応で 信頼される存在を目指す

私たちは、社内からも社外からも常に見られています。お客様だけでなく、共に働く仲間に対しても、一社会人として礼儀正しく、誠実に対応することが大切だと考えます。挨拶はもちろん、連絡事項の徹底や、問い合わせへの迅速な対応など、当たり前のことを決しておろそかにはしません。さらに、個々の強みを最大限に活かし、チームワークを一層高めていくことで、旭紙工全体の成長に貢献できればと願っています。

